

令和3年度介護理解促進福祉協力校事業
実施報告書

<介護の魅力発見！>

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会

目 次

はじめに	1
1 介護理解促進福祉協力校事業とは	2
2 令和3年度介護理解促進福祉協力校での実施結果（五十音順）	
(1) 学校法人愛知産業大学 愛知産業大学三河高等学校（岡崎市）	4
(2) 愛知県立安城高等学校（安城市）	6
(3) 学校法人愛知享栄学園 享栄高等学校（名古屋市瑞穂区）	8
(4) 愛知県立猿投農林高等学校（豊田市）	10
(5) 学校法人修文学院 修文女子高等学校（一宮市）	12
(6) 愛知県立千種高等学校（名古屋市名東区）	14
(7) 愛知県立津島北高等学校（津島市）	16
3 アンケート結果（令和3年度協力校）	18
4 継続支援校での実施結果	22
5 アンケート結果（継続支援校）	24
6 講師の総評	27
7 まとめ	28

はじめに

近年、わが国では、少子高齢化の急速な進行を背景に人口減少社会に突入するなど、社会全体が大きな転換期を迎えています。

地域で暮らす人々の世帯構造の変化や就労形態、ライフスタイルなどの多様化により、これまで以上に私たちの暮らしを取り巻く環境は大きく変化しています。

そんな中、介護サービスに対するニーズが高まっており、介護を担う人材の確保は大きな課題となっています。介護人材の確保には、“介護職”が、次代を担う若者からさらに選ばれる職業となるよう、すそ野を広げていく必要がありますが、そのためには、若者が実際に「介護の仕事」に触れて「介護の魅力」を感じていただくとともに、そうした「介護の魅力」を友人や家族、さらには地域住民の皆さんに伝えていくことも重要だと考えます。

そこで、本会では、高校生の皆さんに、介護体験等を通じて介護の理解を深めていただき、介護の魅力を発信していただく趣旨のもと「介護理解促進福祉協力校事業」を、愛知県からの委託を受け平成 29 年度から実施しております。

今年度についても、県内の高等学校から新たな介護理解促進福祉協力校を指定し、介護体験を中心とした取組を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生徒が介護事業所で実際の介護体験を行うことが困難な状況となったため、従来の内容を変更し、介護施設職員の皆様などに協力校へ出向いていただき、生徒に介護の魅力を伝えていただく介護出前講座(3回シリーズ)を実施しました。

また、前年度の介護理解促進福祉協力校には、継続支援としてフォローアップ学習会を行い、活動の定着を図りました。

このたび、こうした活動状況を「令和3年度介護理解促進福祉協力校事業実施報告書」としてまとめましたので、高校生や地域の皆さんに、介護への関心を高めていただく一助としてご活用いただければ幸いです。

令和 4 年 3 月

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会
地 域 福 祉 部

1 介護理解促進福祉協力校事業とは

(1) 目的

本事業は、県内の高等学校等を介護理解促進福祉協力校(以下「協力校」という。)として指定し、この協力校において、介護教室の実施や学校全体及び地域等に向けた普及活動等の各種の取組を進めていただくことで、協力校の生徒に対して介護就労への理解を促し、関心を高めていただくきっかけとするものです。

また、協力校における取組の継続により、地域における介護に対する肯定的なイメージの醸成を図ることも目的としています。

(2) 令和3年度事業の内容

今年度は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、学校授業カリキュラムの組み直しによる影響や、高齢者との濃厚接触による感染拡大への懸念等により、介護施設での介護体験の受入れが困難になったことから、下記のとおり事業内容を変更し実施しました。

① 介護出前講座の実施

校内で、参加する生徒を選定いただき、協力校に施設職員や専門外部講師を派遣し、介護の仕事についての講義や介護職の魅力についての講話を通して、生徒に対して、介護就労への関心を高めていきます。

【第1回】

介護の仕事の概要・魅力に係る講義の実施

【第2回】

介護施設職員を学校に招き、映像等を交え、介護の仕事の実際や、介護職の魅力等に関する講話を開催

【第3回】

1回・2回の内容を踏まえ、今後の超高齢社会への対応などを含め、総合的な講義とグループワークの実施

② 普及・啓発活動

生徒による校内掲示物(壁新聞)の作成や報告会での発表、ホームページへの掲載等

③ 「介護の仕事体験」実践テキストの配布

介護出前講座の講義で使用できるよう、昨年度作成した「介護の仕事体験」実践テキストを増刷し、参加する生徒に配布しました。

④ 実施報告書の作成・配布

事業終了後、以下の内容を含む実施報告書を作成します。

- ・介護出前講座の実施結果
- ・継続支援校での実施結果

- ・参加した生徒のアンケート結果
- ・講師の講評
- ・事業を振り返っての考察と今後の課題
- ・その他



(3) 継続支援（フォローアップ学習会）の実施

協力校における取組の継続により、地域での介護に対する肯定的なイメージの醸成等を図るため、昨年度の協力校に対して、専門講師をフォローアップ学習会に派遣し、学校での自主的な活動として実施される介護事業所でのボランティア活動等を支援することで、活動の定着化を図ります。

(4) これまでの協力校指定状況

○平成 29 年度

学校法人安城学園安城学園高等学校（安城市）、愛知県立瀬戸北総合高等学校（瀬戸市）、愛知県立知多翔洋高等学校（知多市）、愛知県立東海商業高等学校（東海市）、ルネサンス・アカデミー株式会社ルネサンス豊田高等学校（豊田市）

○平成 30 年度

学校法人桜花学園桜花学園高等学校（名古屋市）、学校法人愛知享栄学園栄徳高等学校（長久手市）、愛知県立幸田高等学校（幸田町）、学校法人中部大学中部大学春日丘高等学校（春日井市）、愛知県立半田農業高等学校（半田市）

○令和元年度

愛知県立一色高等学校（西尾市）、愛知県立稲沢高等学校（稲沢市）、学校法人椛山女学園椛山女学園高等学校（名古屋市）、愛知県立豊橋商業高等学校（豊橋市）、愛知県立美和高等学校（あま市）

○令和 2 年度

学校法人さくら学園安城生活福祉高等専修学校（安城市）、愛知県立岡崎東高等学校（岡崎市）、学校法人名古屋石田学園星城高等学校（豊明市）、学校法人豊川閣妙巖寺豊川学園豊川高等学校（豊川市）、愛知県立尾西高等学校（一宮市）

○令和 3 年度

学校法人愛知産業大学愛知産業大学三河高等学校（岡崎市）、愛知県立安城高等学校（安城市）、学校法人愛知享栄学園享栄高等学校（名古屋市）、愛知県立猿投農林高等学校（豊田市）、学校法人修文学院修文女子高等学校（一宮市）、愛知県立千種高等学校（名古屋市）、愛知県立津島北高等学校（津島市）

2 令和3年度介護理解促進福祉協力校での実施結果

(1) 学校法人愛知産業大学 愛知産業大学三河高等学校（岡崎市）

① 介護出前講座の実施

【第1回】

日時：令和3年8月31日(火) 午後2時～午後3時30分

場所：愛知産業大学三河高等学校

参加生徒数：14名（男子8名・女子6名）

●講義内容

- ・介護の仕事を理解しよう

講師：日本福祉大学 大林由美子 氏



【第2回】

日時：令和3年10月18日(月) 午後4時～午後5時30分

場所：愛知産業大学三河高等学校

参加生徒数：11名（男子8名・女子3名）

●講義内容

- ・介護を考えようく～介護現場より～>

講師：特別養護老人ホームくわがい

介護主任 小林舞子 氏



【第3回】

日時：令和3年12月15日(水) 午後3時～午後4時30分

場所：愛知産業大学三河高等学校

参加生徒数：11名（男子8名・女子3名）

●講義内容

- ・もっと介護の仕事を理解しよう（個人ワーク）

講師：日本福祉大学 大林由美子 氏



② 介護出前講座を受講した感想

【生徒の感想】

・これからの高齢化社会で、自分も少しでも役に立てる仕事に就いて、やりがいを見つけていきたいです。

・出前講座に来ていただいた講師の方々には、介護・福祉に関する仕事の内容や楽しさを学ぶことができました。

私も将来、介護・福祉に関わって役立っていただける仕事に就きたいと思いました。

・介護・福祉のイメージなどの考え方が変わる話はとても充実した時間でした。

友達や家族にもこうした話をしていきたいと思っています。

・私は三回の出前講座を受けて、福祉についてのイメージが変わりました。

楽しいことだけでなく辛いこともあるけれど、様々な体験ができるという、いろんな面を知ることができました。

私は、福祉系の大学へ行くので、将来は福祉の仕事に就きたいと考えています。

介護の仕事は、ただ高齢者の世話をするだけかと思っていましたが、事務の仕事など、介護以外にも色々な仕事があり、それぞれチームワークを取りながら仕事をしていることを知りました。

・私の身内にも車いす生活をしている人がいて、自分とは少し違う生活を見ていると、何かと苦労をしていて、私が助ける側で感じることは、自分は恵まれていると感じて、自由が利くことはこんなにもいいことなのだと思います。

自分もいずれは歳を取り、体も不自由になってくるので、助けられる側も助ける側も、福祉について理解を深めたいと感じました。

・今回はコロナ禍ということもあり、実習に行けなかったのは残念ですが、コロナ禍が落ちついてきたら、実習に行きたいです。

・今回、講座を受けてたくさんの知識を得ることができました。

私は「介護」に関しては全く興味がなく、でも今回の講座でたくさんの情報や話を聞いて、少しは「介護」に興味を持つことができました。

自分は、この講座を受けていなかったら「介護」に関しては全く興味がなかったと思います。「介護」は、今も将来にも役立つので、たくさんの知識を、この講座で得ることができたので良かったです。

この講座を聞いて、良かったです。

・介護の仕事を最初はそんなに良くないものだと思っていましたが、話を聞いてこの仕事がどれだけやりがいのあるのかを、よく理解できたと思います。

【担当教諭の感想】

遠くまで足をお運びいただき、ありがとうございました。

受講者のうち5名は福祉関係の進学希望者で、現場の情報を知れたことは今後の勉学に生かされると思います。

その他は、地域交流活動部所属で、ボランティア活動するため良い学びの場になりました。

今は、コロナ禍で休止しておりますが、福祉施設へ行った時に役に立つと思います。

貴重な講義をいただき、誠にありがとうございました。

鈴木広八 教諭

③ 普及啓発活動

・愛知産業大学三河高等学校ホームページに出前講座開催を掲載

○出前講座に参加した「地域交流活動部」の紹介

ボランティア活動で、近隣の福祉施設を中心に、施設の清掃やイベントなどの運営や、お手伝い、介助などを行っています。

令和3年度 愛知県介護理解促進福祉協力校事業への参加について

令和3年度 愛知県介護理解促進福祉協力校事業への参加について

1期目 8月31日(水) 14時00分～15時30分
2期目 10月18日(月) 14時00分～15時30分
3期目 12月15日(水) 14時00分～15時30分

※・・・日本福祉大学 社会福祉学部 文化福祉学 発表
※・・・特別養護老人ホームくわがの 行健志雄 小幡舞子 様 (行健福祉会・小幡志雄様)



ホームページの画像

(2) 愛知県立安城高等学校 (安城市)

① 介護出前講座の実施

【第1回】

日時：令和3年9月13日(月) 午後1時25分～午後2時55分

場所：安城高等学校

参加生徒数：23名(女子23名)

●講義内容

- ・介護の仕事を理解しよう

講師：日本福祉大学 大林由美子 氏



【第2回】

日時：令和3年9月29日(水) 午前10時55分～午後0時25分

場所：安城高等学校

参加生徒数：23名(女子23名)

●講義内容

- ・介護を考えようく～介護現場より～

講師：特別養護老人ホーム安寿の郷ホーム

介護部長 高田真由美 氏



【第3回】

日時：令和3年10月13日(水) 午前10時55分～午後0時25分

場所：安城高等学校

参加生徒数：21名(女子21名)

●講義内容

- ・もっと介護の仕事を理解しよう(個人ワーク)

講師：日本福祉大学 大林由美子 氏



② 介護出前講座を受講した感想

【生徒の感想】

・介護・福祉の仕事は、高齢者や障害のある人たちのお世話をするというイメージがとても大きかったけど、自分でできることは自分でやってもらい、難しいことは支えてあげる。高齢者の一人ひとりが、意欲を取り戻せる仕事だということが分かりました。将来は、男女、年齢、障害の有無に関わらず、すべての人が安心して暮らせる社会になってほしいなと思います。

これからもっとボランティア活動に積極的に参加していきたいと思っています。

・介護の仕事に対してのイメージが良い方向に変わりました。介護の仕事に就かなくても将来介護をする機会があるかもしれないので、今回の講座で役に立つ話も聞くことができて良かったです。

・どんどん高齢者が増えていて、理解しなければならぬけれど、あまりいいイメージを介護に対してもっていなかったのが、今回の講座で深く知ることができて、介護の仕事の魅力を理解することができたのが良かったです。もっと高齢者に関わりを増やしていけたらいいなと思いました。

・介護の仕事は、重労働で大変だというイメージから、高齢者の方に対して、今何ができるか、高齢者の方と過ごす楽しさなど、様々なことが知れてやりがいのある仕事だと思いました。

貴重なお時間ありがとうございました。

・介護のことについて詳しく知ることができたし、辛そうなイメージから楽しい時もあり、やりがいもあるイメージが変わって、介護に興味を持つことができました。介護は体力を使うから、腰が痛くなったりするお仕事だと思っていたけれど、体を小さくすることで、高齢者を簡単に動かすことができることを知って、おじいちゃん、おばあちゃんの介護が必要になった時は、そのことを思い出して実践出来たら良いと思いました。

・たくさんの仕事があるけれどその仕事の上辺しか見ていなく実際どんなことをするのか細かい部分は分からなかったけれど、このような講座を受けて、介護の大変さ、重労働という印象から、コミュニケーションを通しての楽しさや能力、技術を高められる素敵な仕事だと思った。

③ 普及啓発活動

- ・安城高等学校ホームページに、出前講座開催を掲載

・1回目と2回目の講座を通して、介護の仕事の楽しさや、やりがいなどの多くのことを知れて、介護に対するイメージが大きく変化しました。そして介護にとっても魅力を感じました。

お話をしてくださった講師の先生方が、介護の仕事が好きだというのが、とても伝わってきて、私も講師の先生方のように、自分の好きなことを仕事にしたいと思いました。今後はボランティアに参加したり、地域の高齢者の方に移動時に挨拶したり、助け合って生活していきたいと思っています。

・介護について、知っているようで、知らなかったんだと気づくことができました。

私の中で、お世話じゃなくて一緒にお手伝いをするというイメージが強く残って、前向きな職業なんだと思うようになりました。

将来の夢である保育士の仕事と少し似ている所があると感じました。子どもとお年寄り対象が違うけど、どちらの職業も思いやりの気持ちが大切だと思いました。素敵な保育士になれるように頑張ろうと思います。

・初めは自分には全く関係のない話だと思っていたけれど、まわりの高齢者の人の事を考えると自分にも関係のある話だと思いました。

将来自分が子どもを産んで仕事をしたいと思ったら介護・福祉の仕事も選択肢に入りたいと思いました。今回の出前講座では学ぶことがたくさんあり面白かったです。

・介護の仕事とは、普通の生活ではできないような貴重な体験を得られるとても素敵な仕事なのだと思いました。何より大林先生が現場の話をとても楽しそうに話されているのを見て、やりがいと、喜びに溢れた仕事のだと感じました。介護へのイメージを大きく変えられて良かったです。ありがとうございました。

【担当教諭の感想】

三年生対象だったので、介護職に進む生徒は1名だけでしたが、生徒には本当に良い学びになりました。特に現場の声が聞いて良かったです。ありがとうございました。

仲島三保子 教諭



ホームページの画像

(3) 学校法人愛知享栄学園 享栄高等学校 (名古屋市)

① 介護出前講座の実施

【オリエンテーション】

日時：令和3年12月14日(火) 午後1時30分～2時40分

場所：瑞穂区社会福祉協議会

参加生徒数：5名 (男3名・女子2名)



瑞穂区社会福祉協議会

【第1回】

日時：令和3年12月22日(水) 午前10時～午前11時

場所：瑞穂区社会福祉協議会

参加生徒数：5名 (男3名・女子2名)

●講義内容

- ・介護の仕事を理解しよう

講師：株式会社経営志援 辻暦 氏



【第2回】

日時：令和3年12月22日(水) 午前11時10分～午後0時10分

場所：瑞穂区社会福祉協議会

参加生徒数：5名 (男子3名・女子2名)

●講義内容

- ・介護を考えよう<～介護現場より～>

講師：特別養護老人ホーム美保岐の丘
介護主任 鈴木祐介 氏
介護ユニットリーダー
松尾和樹 氏



【第3回】

日時：令和3年12月22日(水) 午後1時15分～午後2時15分

場所：瑞穂区社会福祉協議会

参加生徒数：5名 (男子3名・女子2名)

●講義内容

- ・もっと介護の仕事を理解しよう (グループワーク)

講師：株式会社経営志援 辻暦 氏



② 介護出前講座を受講した感想

【生徒の感想】

・いままでのイメージでは、大変で、高齢者の方と楽しく過ごせるのかなと不安に思っていたのですが、今回の講座で、大変なこともあるけれど、楽しいことの方が多いと知りました。

介護で腰が痛くなることは、初めて知りました。その他、ハンドクリームを塗ったり、知らなかったことが思っていたよりも多くあり、もっと知りたいと思いました。私は、まだ介護ボランティアをしたことがないので、早くしてみたいと思いました。

・グループワークでは、なかなか難しくて意見が言えなかったけど、聞いていると、助けを必要としている人に、何をサポートできるか、精神面ではどうモチベーションを高められるかが重要だと思った。

実際に介護施設で働いている人の言葉を聞いて良かった。

・出前講座の前と後では、介護についての考え方が凄く変わりました。

介護はこれから先、高齢化社会の中では、一番と言っていい程必要になってくると思うので、私も人のため、社会のための役立ちたいと思いました。

また、介護だけではなく、看護なども視野に入れて、将来につなげていこうと思いました。

・出前講座は凄く分かりやすく、聞きやすい話でした。

介護の仕事についてもよく分かったし、介護についてのイメージも変わる内容でした。

高齢者に対する考え方なども変わり、生活しやすい日本になったらいいなと思いました。一日だけでしたが、ありがとうございました。

介護の仕事についてもよく分かり、介護のイメージも変わるような内容でした。

・出前講座の前と後での印象が大きく変わりました。今までは、人と関わる仕事に就きたいと思っていたけれど、どのような仕事なのか具体的には出てきませんでした。今回出前講座で介護職のことをたくさん聞いていて、「私もこの人のような人になりたい」と心の底から思えました。

今回受講できて本当に良かったです。

【担当教諭の感想】

今回は無理をお願いし、出前講座とインターンシップを合同に実施していただき、ありがとうございました。

担任の先生によりアナウンスしてもらい、福祉に関心のある生徒が参加させていただき大変勉強になったと思います。

学校以外の場所において、各職種のエキスパートに話していただくことは、とても重要であり、生徒にとって、とても良い機会だったと思います。

就職指導課 高柳裕 主任

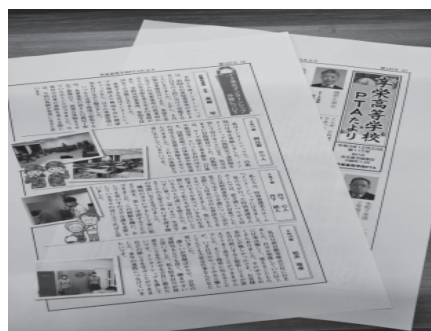
③ 普及啓発活動

・享栄高等学校の就職指導課のインターンシップに合わせて出前講座を実施し、福祉・介護関係に興味のある生徒が参加しました。

・就職指導課では、高校3年間で社会人になるための大切な準備期間と位置づけし、就職行事を通じて、生徒一人ひとりの進路希望を大切に、就職力の育成を目指しています。

・享栄高等学校「PTAたより」に掲載

・体験発表会の開催



PTAたより

(4) 愛知県立猿投農林高等学校 (豊田市)

① 介護出前講座の実施

【第1回】

日時：令和3年9月9日(木) 午後1時20分～午後3時

場所：猿投農林高等学校

参加生徒数：17名 (女子17名)

●講義内容

- ・介護の仕事を理解しよう

講師：日本福祉大学 大林由美子 氏



【第2回】

日時：令和3年10月28日(木) 午後1時40分～午後3時10分

場所：猿投農林高等学校

参加生徒数：17名(女子17名)

●講義の内容

- ・介護を考えようく～介護の現場より～>

講師：特別養護老人ホーム豊田福寿園

施設長 浅野富美子 氏

副施設長 安藤優 氏

介護職員 平林唯菜 氏

介護職員 ヴィン・ティ・ジエン 氏

管理栄養士 野村真帆 氏



【第3回】

日時：令和3年12月2日(木) 午後1時25分～午後3時

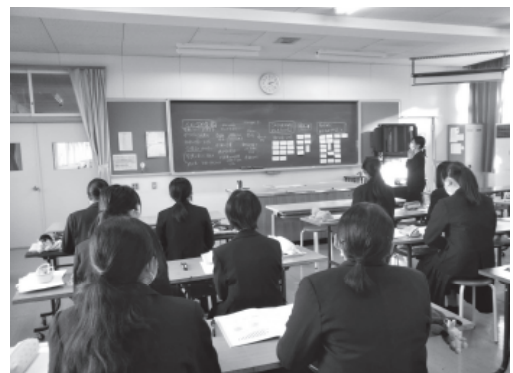
場所：猿投農林高等学校

参加生徒数：18名 (女子18名)

●講義の内容

- ・もっと介護の仕事を理解しよう (個人ワーク)

講師：日本福祉大学 大林由美子 氏



② 介護出前講座を受講した感想

【生徒の感想】

・最初は辛いというイメージがほとんどでした。話を聞くともちろん大変だったことや、辛かったことがあったみたいですが、それでも介護の仕事が続けることができているのは、職員同士の支え合いができていたり、利用者さんとの信頼関係を築いていくことで、得ることのできる生きがい、感謝されることで、介護の仕事に誇りを持っていくことができているのかと思いました。

少し、興味を持つことができたので、話を聞けて良かったです。

・福祉についてのイメージが初めはきつく大変、肌が荒れる、傷つけられるなど、マイナスばかりのイメージしかありませんでしたが、今回、出前講座を受けてみて、失敗談があったり外国の方が働いていたり、色んな人が働いていること、個人ワークではなくグループワークを大切に働いていること、大変だけど利用者さん以上の笑顔で働いている人などたくさんの方が分かりました。

今回の講座を、いつか活かせるようにしたいです。

・三回にわたって、様々なお話をきくことができ、面白く楽しい印象に残る授業になりました。

介護・福祉のマイナスのイメージが一変してプラスなイメージになりました。そんな中でも現場の方々の声が一番心に残り、大変なこともあるけど、やりがいがあるということが、とても伝わってきました。凄く良い機会となりました。

・出前講座を通じて、福祉・介護に対するイメージががらりと変わったので、受けることができよかったですと思っています。私の祖母は、私が産まれた時から認知症を患っていたため、施設でどんなことをしているのかなど今まで全く知らなかったもので、今回、福祉・介護の現場ではどのようなことをしているのか、気を付けているのかを具体的に知ることができて良かったです。

・出前講座を受けるまでは、介護・福祉の詳しい仕事内容を知らず、マイナスのイメージを持っていました。ですが講座を受けたことで、仕事のやりがいや高齢者と関わる楽しさを知り、自分の中でプラスのイメージになりました。

③ 普及啓発活動

猿投農林高等学校ホームページに、出前講座開催を掲載

・今回、話を聞いて、介護・福祉に対するイメージが変わりました。最初は大変な仕事ばかりだと思っていましたが、やりがいのある仕事だと感じました。高齢者の人とのコミュニケーションは大切で、自分たちが積極的に行動することが大切だとは改めて思いました。自分は介護・福祉の仕事には就かないけれど、知識があることで、手助けができるので、しっかり学びたいと思いました。

・今回、出前講座を受けて、少子高齢化が進む中で福祉の重要性について、改めて感じることができました。中学生時代、老人ホームに行って介護福祉士になりたいという目標がありました。

ですが、高校に入学して理学療法士になりたいと思いました。職種は違うけれど、人と関わる仕事でまた、福祉に関われる機会もあると思うので、理学療法士の資格を取得次第老人ホームに就職を希望したいと思いました。

・福祉に対する気持ちを考え直すいい機会となりました。特に二日目の豊田福寿園で実際に働く職員の方々のお話を聞くことができたのが、一番いい経験になったと思います。介護職は、辛く大変というマイナスのイメージばかりついていましたが、それだけじゃなく、やりがいを強く感じられ、人とのつながりが深い仕事だというのがよく分かりました。

・実際に介護の仕事をされている方のお話を聞いて、どんなところが大変だったのかや、どういうことを利用者の方にされると嬉しいかなどが、詳しく聞くことができて良かったです。

今までは介護の授業を受けた上で、仕事が大変そうで、利用者の方への配慮など、とても大変そうで、良いイメージはありませんでしたが、出前講座を通じて、利用者の方とのコミュニケーションを取ることで、仕事へのやりがいを感じるなど、とても良いイメージへ変わることができました。

【担当教諭の感想】

コロナ禍での実施大変ありがとうございました。なかなか外部の講師を招くのが難しい現在、このように出前講座を行うことができて、生徒が新鮮な気持ちで授業を受けることができました。

藤本はるな 教諭



ホームページの画像

(5) 学校法人修文学院 修文女子高等学校（一宮市）

① 介護出前講座の実施

【第1回】

日時：令和3年9月15日(水) 午後4時～午後5時

場所：修文女子高等学校

参加生徒数：9名（女子9名）

●講義内容

- ・介護の仕事を理解しよう

講師：株式会社経営志援 辻暦 氏



【第2回】

日時：令和3年10月20日(水) 午後4時～午後5時

場所：修文女子高等学校

参加生徒数：8名(女子8名)

●講義内容

- ・介護を考えようく～介護現場より～>

講師：特別養護老人ホーム愛厚ホーム一宮苑

生活相談員 笹山佳佑 氏

介護職員 前田雅子 氏



【第3回】

日時：令和3年12月10日(金) 午後4時～午後5時

場所：修文女子高等学校

参加生徒数：8名（女子8名）

●講義内容

- ・もっと介護の仕事を理解しよう（グループワーク）

講師：株式会社経営志援 辻暦 氏



② 介護出前講座を受講した感想

【生徒の感想】

・老人施設は、あまり家族とは会えないのが悲しいと思ったけれど、施設でレクリエーションとクラブ活動があるのは良いなと思いました。

利用者の方を健康にすることだけを大切にしているのではなく、利用者の方も楽しめていることを大切にしていることを知りました。

三回の講座で少しでも介護の知識を持って楽しかったです。

次回、介護施設でボランティア活動をする時に講座で学んだことを意識したいです。

・今回の講座を受けて、一番印象深かった事は「介護食」についての話です。

施設利用者が食べているものは、誤嚥などを防ぐために、普通食、きざみ食、ミキサー食と、一人ひとり違った柔らかさの食事で、それぞれに合ったものを提供されているそうです。

私は今まで介護食は、どんなものなのか考えた事がなかったので、今回の話を聞いて自分では気付かないような点に配慮されている事が分かりました。

とても良い経験になりました。

・介護の仕事は、とても大変だと思っていました。多くの人と協力しながら仕事をしているとお聞きしましたので、大変だけでなく色々な人と出会うことができ、やりがいを感じる仕事だと思いました。

また、食事の際は自分たちで食べる能力が残っている方々には、自分たちで食べられるように補助をしていると学びました。そうじゃない人には、また別の食事を出していることを学びました。

・本日の出前講座を開いていただき、ありがとうございました。

今回の講座を聞いて、自分自身の進路選択の一つの道なのかを考えています。

どうなるかまだ、決定している訳ではないけれど、今回学んだことを今後に繋げていきたいと思っています。

・ずっと聞くだけの講座ではなく、グループワークをたくさん取り入れた方がもっと楽しく講座が受けられると思います。

・仕事の内容や大切さ、チームワークの重要性を学びました。

介護のことを少しは知れたと思うけど、まだ分からないことがあったら、積極的に自分から調べたいと思いました。

・二日目は施設の介護職員、相談員の方が話に来てくださいました。

施設には、他にも医師、看護師、調理師などが、いろいろいるということを知りました。

私はA Iではなく人が必要とされる仕事に就きたいと考えています。介護は10年後、20年後もずっと職を失うリスクが少なく、収入が安定しているという話を聞いて、こういう仕事に就きたいと思いました。

・介護は介護が必要な人に対して、その人らしく生きて行くことを支えていく仕事だけれど、その人らしく生きて行くことを本人と目指していく仕事でもあったことに介護の魅力を感じました。

また、老人ホームなどの施設は、思っていたよりも利用しやすい値段だったので、自分も将来利用したいと思いました。

私は、看護師になりたいのですが、本人に合わせた支援をしていくという意味では、介護と同じところがあると思ったので、お話が聞いて良かったです。自分が高齢になったときに、どう生活するかを考えるきっかけになりました。

【担当教諭の感想】

自分とは異なる立場の人との旅行計画を立てることにより、相手の立場に寄り添い考える力が身についたと思います。

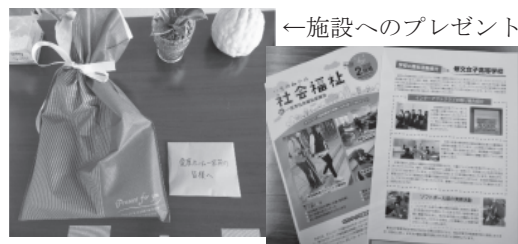
相手のことを考えることで、介護とは何かを深く考えるきっかけになったと思います。

やはり、グループワークは自分たちが考える時間が多く、理解を深めることができたと思います。

田嶋佑里亜 教諭

③ 普及啓発活動

- ・生徒による報告会の開催（令和3年12月14日）
- ・愛厚ホーム一宮苑とリモートクリスマス会の実施
- ・修文女子高等学校ホームページに出前講座開催を掲載
- ・一宮市社会福祉協議会機関誌「いちのみやの社会福祉」に出前講座開催を掲載



いちのみやの社会福祉

(6) 愛知県立千種高等学校 (名古屋市)

① 介護出前講座の実施

【第1回】

日時：令和3年10月4日(月) 午後4時～午後5時30分

場所：千種高等学校

参加生徒数：9名 (女子9名)

●講義内容

- ・介護の仕事を理解しよう

講師：株式会社経営志援 辻暦 氏



【第2回】

日時：令和3年10月19日(火) 午後4時～午後5時30分

場所：千種高等学校

参加生徒数：9名(男子1名・女子8名)

●講義の内容

- ・介護を考えようく～介護の現場より～>

講師：名古屋市厚生院 (特別養護老人ホーム)

業務課福祉係長 二村陽子 氏

技能士 丹羽綾畝 氏

技能士 織部寿子 氏



【第3回】

日時：令和3年11月29日(月) 午後4時～午後5時30分

場所：千種高等学校

参加生徒数：9名 (男子1名・女子8名)

●講義の内容

- ・もっと介護の仕事を理解しよう (グループワーク)

講師：株式会社経営志援 辻暦 氏



② 介護出前講座を受講した感想

【生徒の感想】

・福祉のことや、老人福祉施設、実際にそこで働いている方などのお話を聞くことができ、より自分の福祉に関する知識を深めることができ良かったです。

特に現場の方の声を聞くことができたのは、とても良い経験だったと感じていて、なかなか今の状況では施設に行くことができないので、全てを知ることは難しくても、少しはこの仕事を身近に感じられるようになったのではないかと思います。

もっと状況がよくなったら、実際に施設に行って、知識を深めていきたいと思いました。

このような機会をつくっていただき、ありがとうございました。

・介護の仕事をしている人たちの話を聞いて、自分の今後の進路選択が、一つ増えて良い経験となりました。

講座の内容を自分の人生で、生かしていけるように、努力していきたいと思いました。

・いろんな考えに対する視野が広がって、ボランティアがあったら参加したい。

・介護のイメージには、実際に従事している方とそうではない方の間には、なかなかの差が生まれてしまうのだなと思いました。なので、このように出前授業で実際はどうかを教えていただけることは、とても参考になりました。

また、ワークショップを通してお仕事をされている方の疑似体験をごく一部だとは思いますが、経験させていただいたことによって、より明確に仕事内容や楽しさを感じることができて、本当に視野を広げるいい機会となりました。ありがとうございました。

・介護職についての情報はあまり身の回りにはないが、有益な情報を得ることができ、とてもいい機会となったと思いました。

・今回、出前講座で、あまり良いイメージがなかった介護現場でのやりがいや関わらたらいいなと思う場面があることを知り、将来への選択肢が1つ増えました。ありがとうございました。

・介護やお年寄りの方について詳しく分かり、とても良かったです。実際に働いている方の体験談は、とても貴重で、そんなことがあるのかと驚くこともありました。

現場で働いている全ての人は、どうしたら利用者さんが快適に過ごせるのか、幸せを感じてもらえるのかということを考えられていて、様々な人の努力と工夫で幸せが形作られていく様子はとてもすてきだなと思いました。

三回に渡り貴重な講義をしてくださり、ありがとうございました。

・最近のSNSで話題となっている介護職についてのお話が聞いて、ためになったと思う。

自分の思い込んでいたイメージと少し違うことを知ることができたが、二日目をお休みしてしまったので、体験やボランティアで直に雰囲気や、やりがいを感じてみたい。

・三日目が初参加でしたが、グループワークが楽しかったです

人のために働くってとても難しいことだと思いましたし、夢や希望を叶えてあげるとは、凄く大変なことだと思いました。

私は、福祉なんて眼中になかったけど、少しだけ現場が見れた気がして、学べてよかったと思いました。

【担当教諭の感想】

出前講座を実施していただき生徒に対して、福祉・介護への関心を高めるきっかけとなった。

余語直子 教諭

③ 普及啓発活動

・名古屋市名東区社会福祉協議会の機関誌に出前講座開催を掲載

○出前講座に参加した「インターアクトクラブ」の紹介

国際交流とボランティアを軸に活動しています。ボランティアと言ってもゴミ拾いや募金活動だけではなく、自分たちで独自の目的を設定して様々な活動をしています。そうすることで多くのことを学ぶことができ、ボランティアをする側とされる側の両方に有益なものになると考えます。



ゆめはいと（機関誌）

(7) 愛知県立津島北高等学校 (津島市)

① 介護出前講座の実施

【第1回】

日時：令和3年12月3日(金) 午後1時30分～午後3時

場所：津島北高等学校

参加生徒数：32名 (男子29名・女子3名)

●講義内容

- ・介護の仕事を理解しよう

講師：株式会社経営志援 辻暦 氏



【第2回】

日時：令和3年12月17日(金) 午後4時～午後5時30分

場所：津島北高等学校

参加生徒数：32名(男子29名・女子3名)

●講義の内容

- ・介護を考えよう<～介護の現場より～>
- ・車いすの体験

講師：特別養護老人ホーム恵寿荘

介護士 永尾菜月 氏

介護士 鈴木貴実 氏



【第3回】

日時：令和3年12月21日(火) 午後1時30分～午後3時

場所：津島北高等学校

参加生徒数：16名 (男子13名・女子3名)

●講義の内容

- ・もっと介護の仕事を理解しよう (グループワーク)

講師：株式会社経営志援 辻暦 氏



② 介護出前講座を受講した感想

【生徒の感想】

- ・グループワークで考えるものがあり、調べたり考えたりするのが面白かった。
自分が知っている知識より、色々な知識を知ることができました。
二日目の時に参加できなかったのも、車いす体験については、学ぶことが出来なかったのも悲しかったです。
- ・改めて介護について考えさせられて、身近に介護系の人がないので、大変さを知らないけれど、介護を必要とする人が身近にできたら、自分から助けにいこうと思った。
- ・老人ホームなどで過ごしている人たちは、介護をする人によって、これからの生き方が変わるので、とても責任重大なのだと思います。
しかし、その人が良い人生を送れるようになれば、自分も相手も良い気持ちになり、これからのモチベーションにも繋がるので、介護はとても大切だと思います。
また、介護をする時は、たとえ腹が立ったとしても感情を出してはいけないことを知りました。
講座を実施していただき、ありがとうございました。
- ・介護は高齢者の方のお世話をするだけだと思っていたけれど、その人のやりたいことを叶えるお手伝いをする事なんだと知った。
- ・今回、福祉についての出前講座は、老人ホームや介護についてが主でした。内容は分かりやすく、理解が深まり、その道がいかに重要なのか、いかに社会に与える影響が大きいのか分かった。

・この三日間を通じて介護に対するイメージが、さらによくなった。

また、もし周りに介護の仕事が嫌だという人がいたら、介護はやりがいや、社会に貢献できるということを伝えていきたいし、自分も介護という仕事も視野に入れて、これからの人生を考えていきたいと思った。

・今回の出前講座では、福祉の大変さや奥深さなど自分の知らない部分をたくさん知ることができました。

そして、福祉の仕事以外にもいわゆるコミュニケーションを大切にすることや、働く人との人間関係がとても大事ということを知ることができました。

・今までの自分が思っていた介護の現場と今回聞いた介護の現場が違って、介護がどれくらい負のイメージをもたれているかが、今回の出前講座で知ることができました。

そして、国が介護の人の給料を上げて、イメージが少しでも良くなることを祈っています。

今回の出前講座を聞いて、周りのお年寄りや家族にもっとたくさん話していこうと思いました。

【担当教諭の感想】

車いすの体験は、小学校などでも行われますが、全員が触れる機会は、なかなかないと思ったので、参加してよかったです。

また、少人数ですが、グループワークなどで生徒に考えさせる内容が良かったです。

中島恵未 臨時的任用教諭

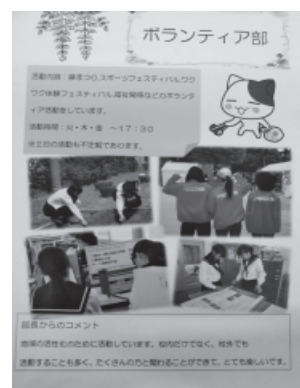
③ 普及啓発活動

- ・津島市社会福祉協議会の機関誌に出前講座開催を掲載

○出前講座に参加した「ボランティア部」の紹介

私たちボランティア部は、地域の活性化のために活動しています。

校内だけでなく、校外でも活動することが多く、たくさんの方と関わることができて、とても楽しいです。



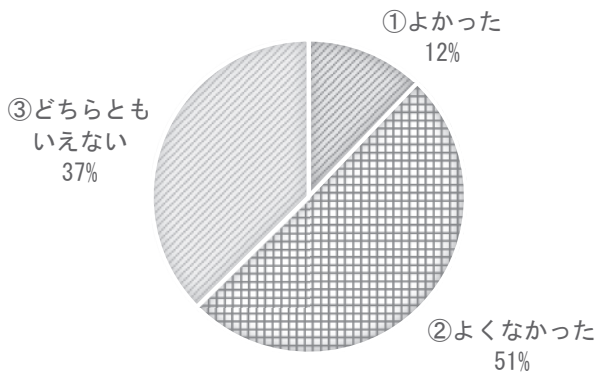
津島北高校ボランティア部

3 アンケート結果（令和3年度協力校）

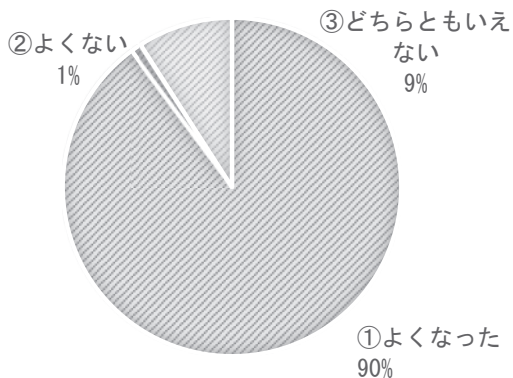
(1) 生徒アンケート結果 回答数7校 99名

《アンケート項目》

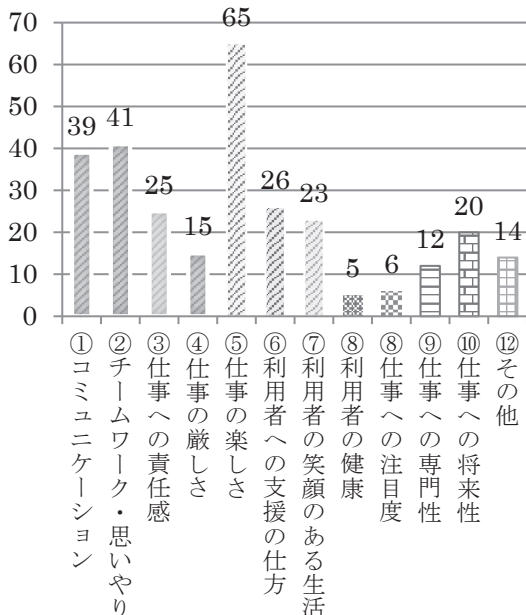
○ 介護出前講座の実施以前に持っていた介護現場のイメージは？



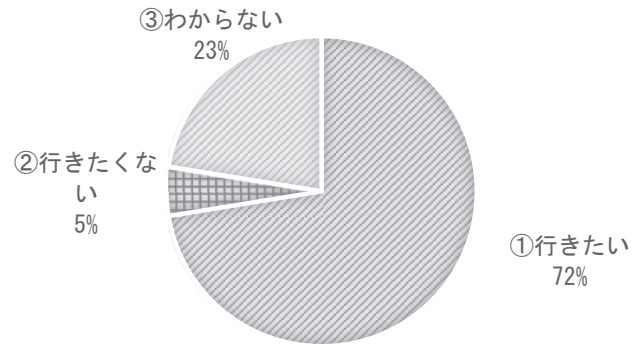
○ 介護出前講座を受講してからの介護現場のイメージは？



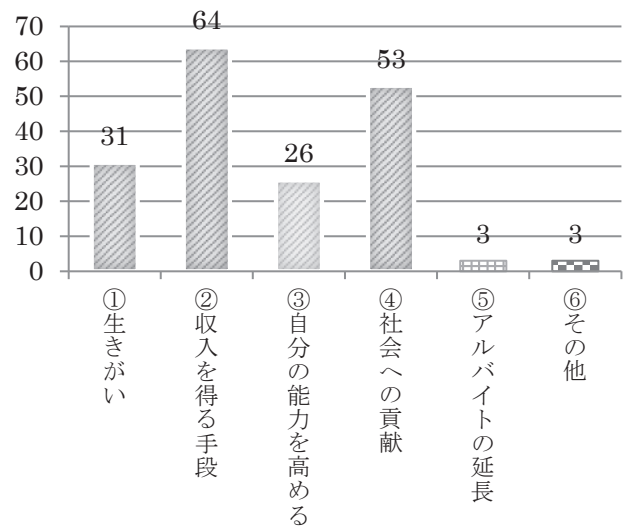
○ 介護出前講座でどんなことを主に学びましたか。（複数回答）



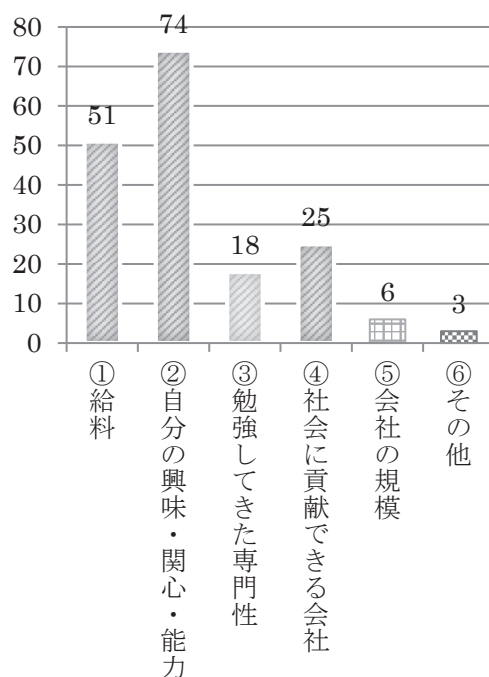
○ 機会があれば、老人福祉施設に介護体験やボランティアに行きたいですか。



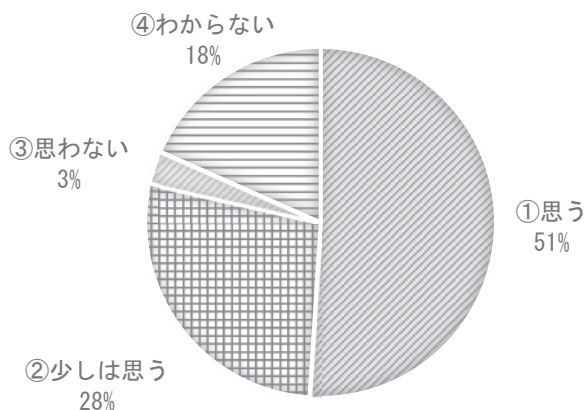
○ 「働く」ということは、どういうことだと考えますか。（複数回答）



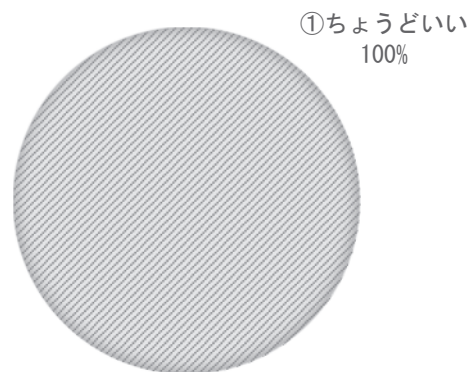
○ 将来において就職先決定に重要なポイントは何ですか。（複数回答）



○ 今回の介護出前講座は、自分の進路決定に役に立つと思いますか。



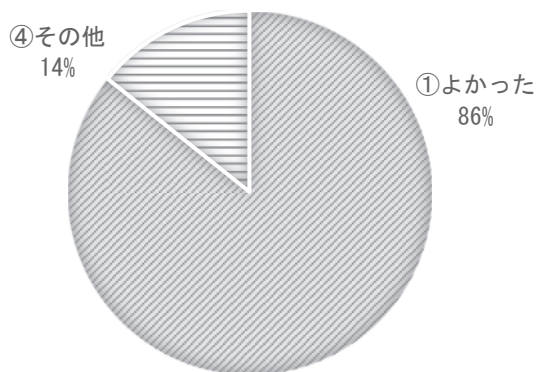
○ 介護出前講座における講義時間の長さは、いかがだったでしょうか。



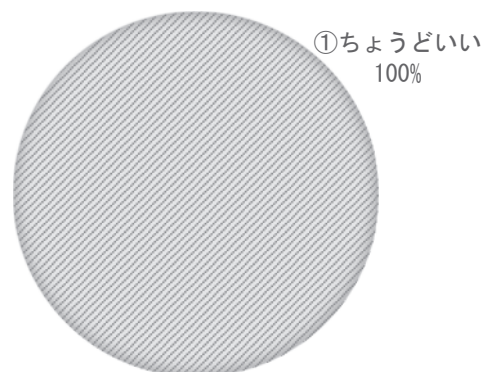
(2) 学校アンケート結果 回答数 7校

《アンケート項目》

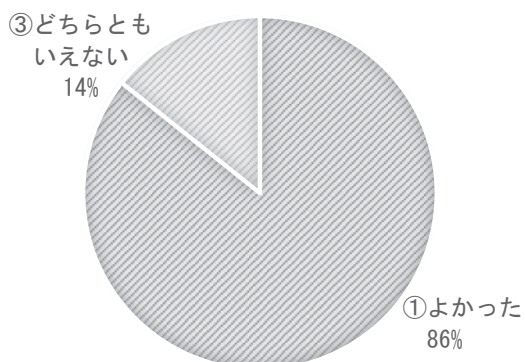
○ 介護出前講座を実施して全般的にいかがだったでしょうか。



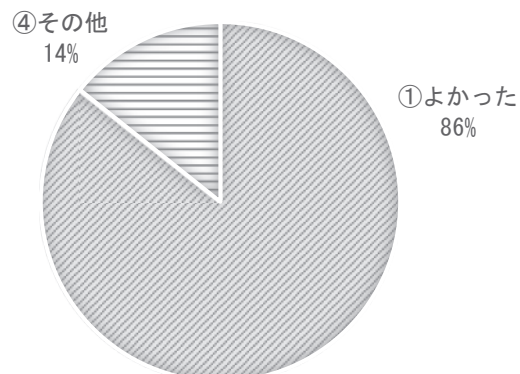
○ 介護出前講座での参加生徒数は、いかがだったでしょうか。



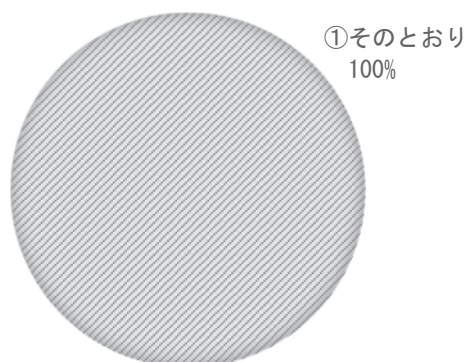
○ 介護出前講座に対し生徒の取り組む姿勢はいかがだったでしょうか。



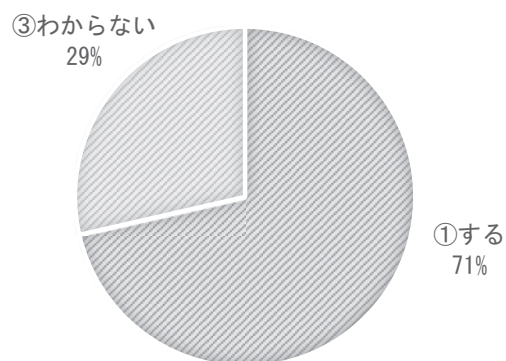
○ 介護出前講座の内容はいかがだったでしょうか。



○介護出前講座の実施は、生徒に対して福祉・介護就労への理解を促し、関心を高めるきっかけとなったでしょうか。

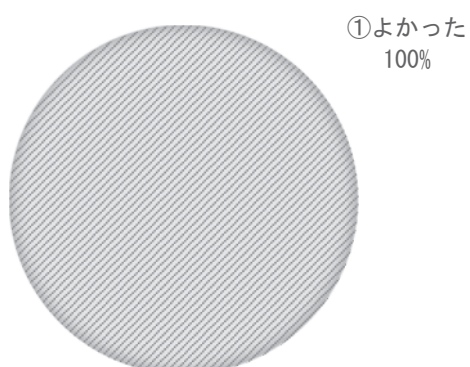


○介護出前講座の要請があれば今後も協力していただけるでしょうか。

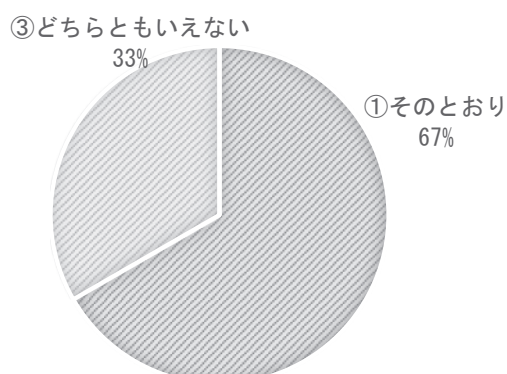


(3) 施設講師アンケート結果 回答数 15名
《アンケート項目》

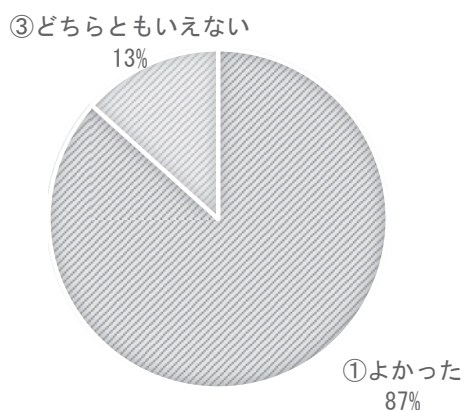
○介護出前講座を実施していかがだったでしょうか。



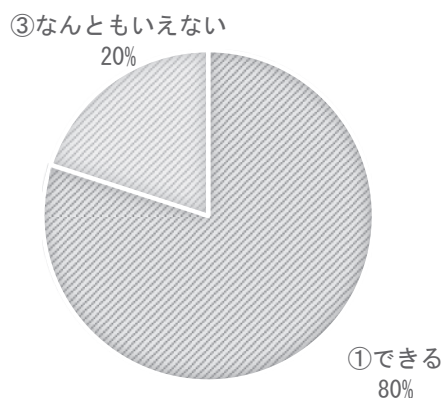
○介護出前講座は、生徒に対して福祉・介護の仕事への理解を促し、関心を高めるきっかけとなったでしょうか。



○生徒の取り組む姿勢はいかがだったでしょうか。



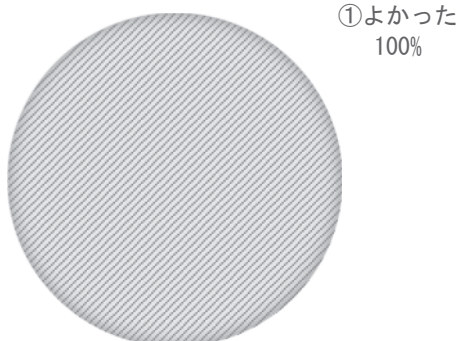
○来年度コロナウイルスが終息すれば、夏休み等に高校生を体験学習に受け入れることはできるでしょうか。



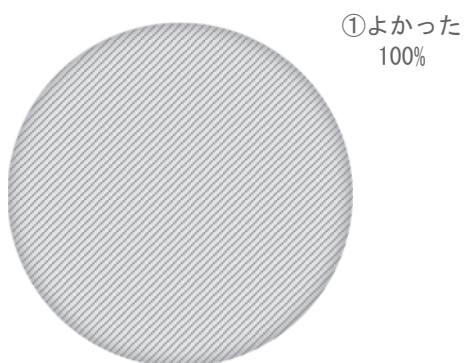
(4) 講師アンケート結果 回答数2名

《アンケート項目》

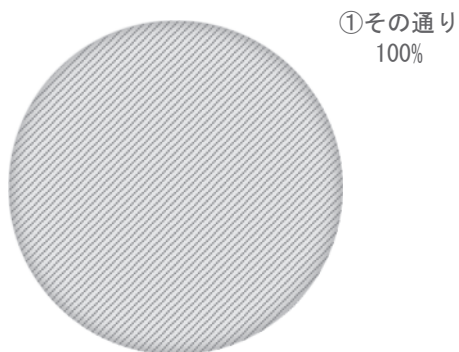
○介護出前講座を実施して、全般的にいかがでしたか。



○生徒の取り組む姿勢はいかがでしたか。



○介護出前講座は生徒に対して福祉・介護就労への理解を促し、関心を高めるきっかけとなったでしょうか。



4 継続支援校での実施結果

(1) 実施内容

昨年度の協力校に対して外部講師を派遣し、フォローアップ学習会を実施することで、その後の、高齢者福祉施設でのボランティア活動等の関連した取組を支援し、活動の定着化を図っています。

＜学習会の内容＞ ①介護理解促進福祉協力校事業について

②介護の仕事を理解しよう

(個人ワーク・グループワーク)

③アンケートについて

介護理解促進福祉協力校事業 フォローアップ学習会を終えて

2021年11月7日 ● 福祉生活、福祉ボランティア活動、福祉

昨年12月から今年1月にかけて3回実施した「介護理解促進福祉協力校事業 出前講座」のまとめとなるフォローアップ学習会を開催しました。

講師として、株式会社経営志援、社団法人が豊川福祉協議会・地域福祉部・専門員、福祉職之志と卒業されました。昨年の出前講座を学びながら、介護業界の取り組みの理解を深めました。また、介護やボランティアの経験や自分の考え方を発表しました。受講した後は、あらためて介護業界の重要性を理解するとともに介護に興味・関心を抱くことができました。

来年の進路選択の際には、「介護」を視野にいれて考えたいと思います。



星城高等学校ホームページの画像

(2) 実施校（昨年度協力校）

- ・学校法人さくら学園安城生活福祉高等専修学校（安城市）
- ・愛知県立岡崎東高等学校（岡崎市）
- ・学校法人名古屋石田学園星城高等学校（豊明市）
- ・学校法人豊川閣妙厳寺豊川学園豊川高等学校（豊川市）
- ・愛知県立尾西高等学校（一宮市）

(3) 継続事業（フォローアップ学習会）の実施状況

学校名	日時・講師	参加生徒数
安城生活福祉高等専修学校 (安城市)	令和3年11月22日(月) 午後3時30分～午後5時 講師 日本福祉大学 大林由美子氏	43名
岡崎東高等学校 (岡崎市)	令和3年7月7日(水) 午後2時25分～午後4時 講師 日本福祉大学 大林由美子氏	15名
星城高等学校 (豊明市)	令和3年12月6日(月) 午後4時～5時30分 講師 (株)経営志援 辻暦氏	18名
豊川高等学校 (豊川市)	令和3年7月5日(月) 午後4時30分～午後6時 講師 日本福祉大学 大林由美子氏	30名
尾西高等学校 (一宮市)	令和3年7月28日(水) 午後1時～午後2時30分 講師 (株)経営志援 辻暦氏	5名

*今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティア活動の中止や、介護施設への訪問ができなくなり、各校の活動についても校内自粛を余儀なくされましたが、状況を見ながら、今後取組が再開されていく予定です。

(4) フォローアップ学習会の様子



安城生活福祉高等専修学校



岡崎東高等学校



星城高等学校



豊川高等学校



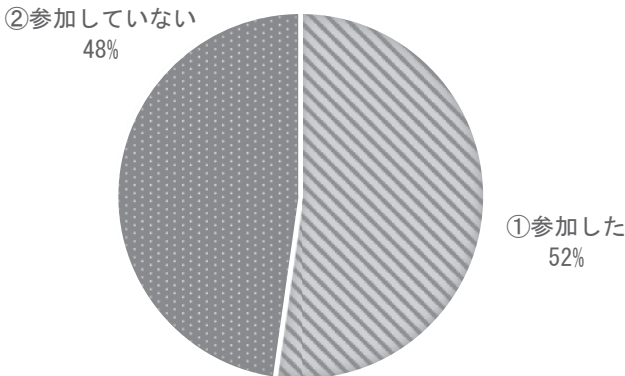
尾西高等学校

5 アンケート結果（継続支援校）

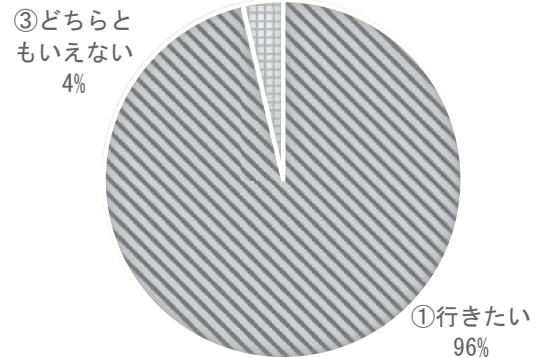
(1) 生徒アンケート結果 回答数 5 校 111 名

《アンケート項目》

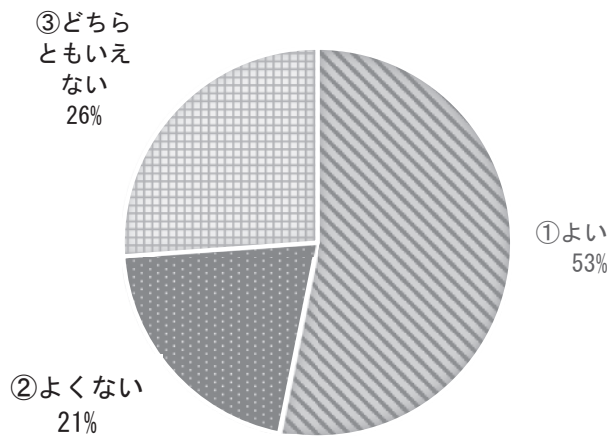
○ 昨年の介護出前講座に参加しましたか。



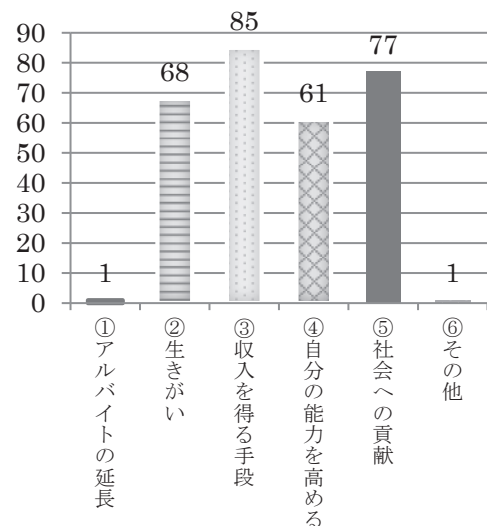
○ 実際に今後、介護施設にボランティアや、実習に行ってみたいと思いませんか。



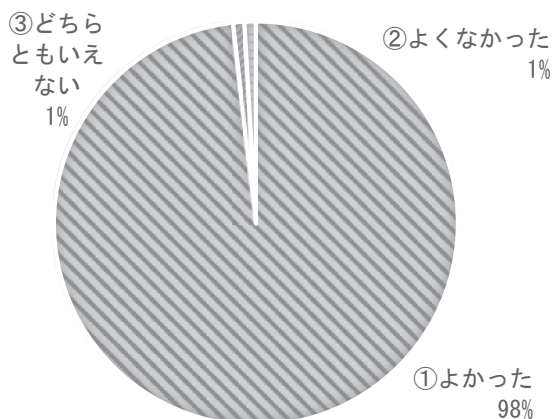
○ 学習会の実施以前に持っていた介護現場のイメージについて。



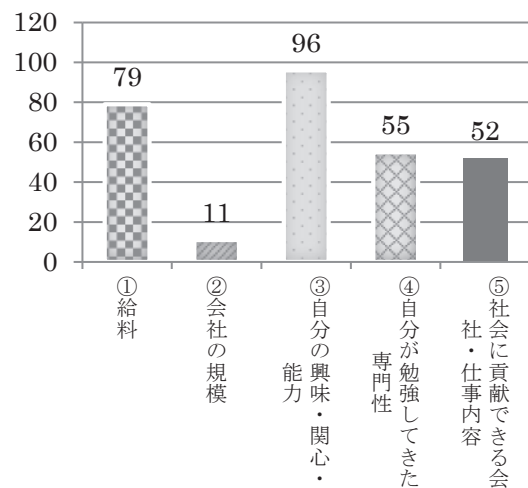
○ 「働く」ということは、どういうことだと考えますか。（複数回答）



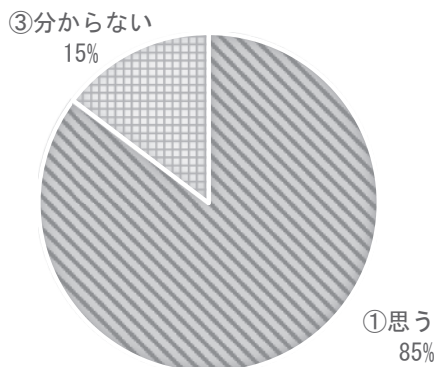
○ 今回の学習会の内容はいかがでしたでしょうか。



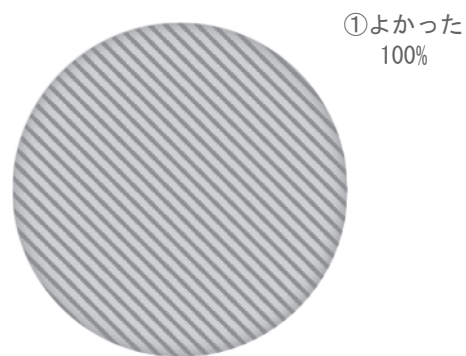
○ 将来において就職先決定に重要なポイントは何ですか。（複数回答）



○ 今回の学習会は自分の進路決定に役に立つと思いますか。



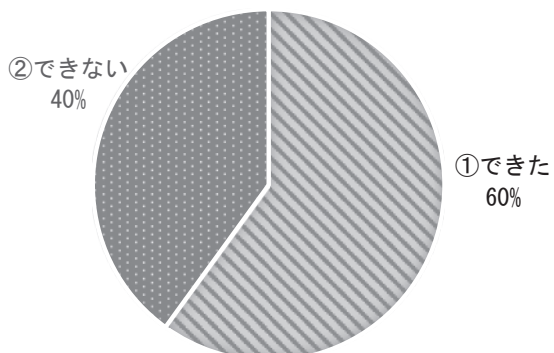
○ 学習会の生徒の取り組む姿勢は、いかがだったでしょうか。



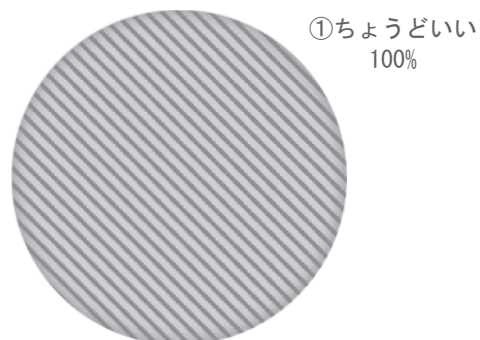
(2) 学校アンケート結果 回答数5校

《アンケート項目》

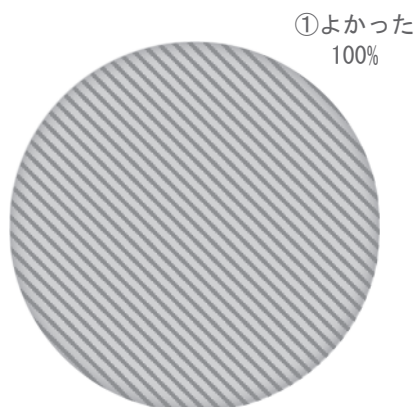
○ 今年度は新型コロナ禍において、ボランティア活動などが実施できましたか。



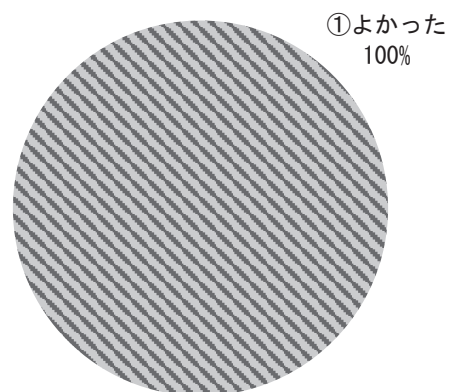
○ 学習会の時間の長さはいかがだったでしょうか。



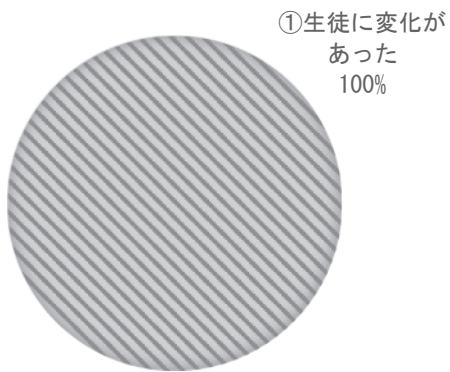
○ この学習会を実施して、全般的にいかがだったでしょうか。



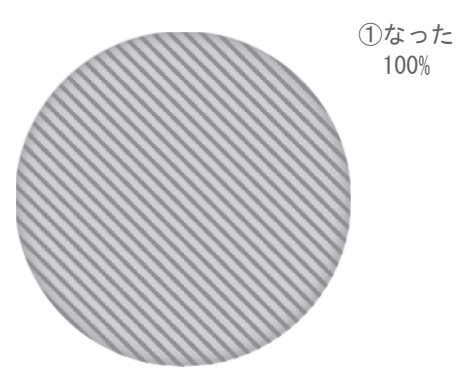
○ 学習会の内容は、いかがだったでしょうか。



○ 昨年実施した介護理解促進福祉協力校事業は、生徒に対して福祉・介護就労への理解を促し、関心を高めるきっかけとなったのでしょうか。



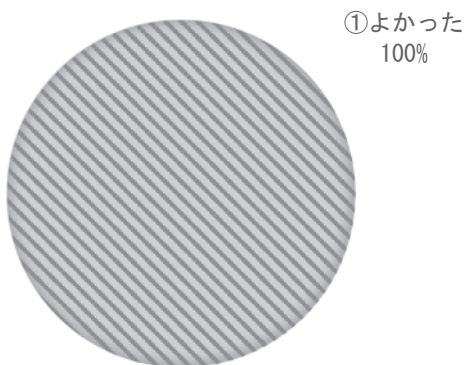
○ フォローアップ学習は、再度生徒に対して福祉・介護就労への理解を促し、関心を高めるきっかけとなったのでしょうか。



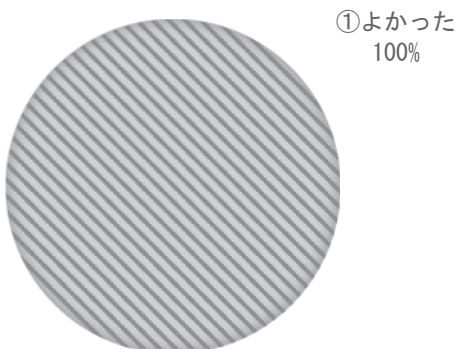
(3) 講師アンケート結果 回答数2名

《アンケート項目》

1 フォローアップ学習を実施して、全般的にいかがだったでしょうか。



○ 生徒の取り組む姿勢はいかがだったでしょうか。



6 講師の総評

(1) 介護出前講座について

皆さん熱心に受講してくださいました。1日目はテキストを用いての講義、2日目は現場で働く方のリアルなお話、3日目は振り返りの講義（全員発表）という流れでしたが、介護の仕事に対する意識の変容には大きな手ごたえがありました。講座に参加したすべての学生さんに発表していただくことで、「自分ごと」として考えていただくことができたと思います。

高校生という将来の仕事に対して身近に感じることができる年齢の学生に対して、介護の魅力伝えるこの事業は、少子高齢・人口減少社会において、介護の人材不足を補うためにも有効であると思います。卒業後、すぐに介護の道に進まれる方は多くないかもしれませんが、将来の仕事として選択肢の一つに入れていただくことはできたのではないかと思います。

講座を受講する前の介護の仕事の印象は、「きつい、つらい、汚い、給料が安い」という印象で、排泄介助等身体介護のイメージが強いように感じました。できることはご自分でやっていただき、サポートすることは一部であることや、笑顔の絶えない職場であること、クリエイティブな仕事であること、スキルアップができることや、それに伴い役職や給与が上がっていくこと、介護の力で利用されている方の夢を叶えることもできるのが介護の仕事であること等をお伝えするなか、仕事のイメージを変容できるこの事業は、大変有効で必要な事業であると思います。出前講座の3日間の日程は、月1回程度のペースで行い、3ヶ月程度で終えることができると、より成果は上がるように感じました。ありがとうございました。

(日本福祉大学 大林由美子 氏)

出前講座の授業を受けていただけて本当によかったと思います。1日目や2日目は座学で聞くだけの授業だったと思うので、福祉に興味を持ってない生徒さんには少し辛い授業になったかもしれませんが、3日目の講義で1人の高齢者を幸せにするためにグループワークをしたときは、どの生徒さんもその人を幸せにするために一生懸命考えて意見を言うことができていたのでよかったです。1日目のときと3日目のときを比べても3日目のときのほうがより積極的に楽しみながら授業を受けることができていたのではないかと思います。コロナ禍というご時世もあるかと思いますが、授業を3日間受けてからフォローアップまでの間に1日でもいいので、高齢者施設の体験実習をしていただけると良いと思いました。

(株式会社経営志援 辻曆 氏)

(2) 継続支援（フォローアップ学習会）について

フォローアップ学習の開催時期が1年後ということで、前年度に講座を受けていない学生さんの参加もありました。参加した学生はすでに卒業されていたり、1年生が入学されていたりするためです。そのため、教室内で二つのグループに分かれてもらいました。参加した学生には、「介護の仕事のイメージの変容について」「この講座はどう生かされたか」「他者（教員、家族、友達等）に報告したか。その反応はどうだったか」「将来就きたいと考えている仕事・職種はあるか」「どのような世の中になったらよいと思うか」「そのために自分はどのように行動するか」などから選択して発表していただきました。発表のための原稿を作成していただいている横で、

講座に初めて参加する学生には、テキストを用いて、「介護の仕事の魅力」についてプチ講座をおこないました。全員に発表をしてもらうことで、一人ひとりの理解を深め、他者の発表を聞くことで、思考や視野が広がったように感じました。将来就きたいと考えている職種に「介護福祉士」が多く上がった学校もありました。部活動でボランティア活動を行っている学校では、部活動の取組の報告の場となりました。1年後の振り返りでは、他者に伝える力を感じ、大きく成長している皆さんに出会うことができました。

(日本福祉大学 大林由美子 氏)

前回の授業から1年経過していることもあり、前回の授業内容を覚えていない生徒さんが何名かいる中でも、フォローアップとして改めて授業を受ける中で積極的に発言をしてもらえたのでよかったです。

(株式会社経営志援 辻暦 氏)

7 まとめ

介護理解促進協力校事業では、介護の仕事の実際を理解し介護の仕事の魅力について知っていただくことを目的としていますが、今年度については、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、介護施設における実際の介護体験を行うことができませんでした。しかし、そうした中であっても「介護の仕事」の魅力を少しでも生徒に伝えることができるよう、特に実際の介護現場での具体的な事例や話、映像を通して、理解を深めていただくことを意識しました。内容に工夫を加え「介護出前講座」という形で7校に実施し、特に車いすの体験や、職種ごとの介護職員の方々の話は、生徒を引き付けていました。

生徒に対するアンケートの結果をみると、介護出前講座実施前は、介護現場のイメージが「よくない」または「どちらとも言えない」とした割合が合わせて88%であったのに対し、介護出前講座実施後は、「よくない」が1%、「どちらとも言えない」が9%と、介護に対する印象や考え方を大幅に改善することができました。

また、感想の中には、「介護の仕事は、重労働で大変だというイメージから、楽しさや、やりがいなどの多くのことが知れて介護に対するイメージが大きく変化した」などの介護職に対する良いイメージが醸成されたことが分かる内容が多くありました。

こうした結果を見ても、「きつい、つらい」などの一面的なマイナスイメージが先行している「介護の仕事」も、実際に介護職員から生の声を聞き、学ぶことにより、「介護の仕事」が本来持つ「やりがい」や、「社会的意義、専門性」、「楽しさ」などの良い面に気付くことで、介護分野への関心を持ってもらうことが可能であるということに改めて気付かされます。介護の仕事は直接利用者さんと関わるので、多くのやりがいと魅力があります。介護に興味を抱いている方、これから介護業界で働きたいと考えている方、ぜひとも足を踏み入れて、介護の魅力を感じていただければと思います。次年度は、新型コロナウイルス感染症の状況もありますが、従来の「介護施設での介護体験」や積極的な普及啓発活動を含む実施手法に戻すことを視野に、引き続き、高校生や地域に対し「介護の仕事」の理解が促進されるよう、工夫を加えながら取り組んでいきたいと思っています。

令和3年度介護理解促進福祉協力校事業 実施報告書
介護の魅力発見！ 令和4年3月

社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会 地域福祉部
〒461-0011 愛知県名古屋市東区白壁1丁目50番地
TEL052(212)5502 FAX 052(212)5503
URL <http://www.aichi-fukushi.or.jp>
E-mail chiiki@aichi-fukushi.or.jp